

住みよい塙山かわら版

発行
日立市塙山学区住みよいまちをつくる会
日立市金沢町2-11-5
塙山交流センター
TEL 34-5404
FAX 34-5337

水害被害も教訓に塙山小と協働で

防災訓練(五〇〇人参加)みんなで災害に備える

東日本大震災から十二年経過した、今年、九月八日(金)の台風十三号で線状降水帯が発生、日立市でも中小河川氾濫・市役所浸水、土砂崩れ、道路寸断、高原地区孤立などの被害が発生しました。学区内でも金沢川が氾濫、約三十世帯が浸水被害を受けました。経験したことのない水害の発生で、防災の大切さが一段と高まっています。塙山学区では、これらの状況から「災害発生時に備えるための啓発」、「次世代を担う児童が防災の大切さを学んでいくこと」の二つを重点に防災活動を継続します。

小学校と共催 塙山学区防災訓練

十月二十一日(土)、塙山小と共催の防災訓練を実施しました。災害時に実効性ある防災行動の浸透、災害時自らの命を守るための啓発と訓練、防災情報の周知広報をテーマに、「小学生防災教室」「避難所開設」「災害時避難行動要支援者安否確認」の三部構成で行いました。

市の避難所開設・運営担当、防災対策課、市研修生、企業局水道課、多賀消防署、小学生親子、塙山小全職員、民生委員、塙山女性会、まちづくり応援隊、地域代表、当会役員・部員約五〇〇名が参加しました。7時45分 市避難所開設担当当会役員が体育館を開錠。8時00分 対策本部立ち上げ8時30分

1部 小学生防災教室

防災学習、煙体験、災害食炊飯、避難所立ち上げ体験を実施。一、四年生の防災教室は防災士が担当、災害と防災の大切さ、命を守る行動、大雨による災害



5年生初めての炊飯準備中

について学びました。五年生はハイゼックス袋で炊飯を初体験、米と水を計量、しつかり輪ゴムで止め二五〇食を作りました。



日立市で初めて教室で煙体験

搬出。居住スペースのパーティションや段ボールベッド、簡易トイレ、給水タンク組み立て、防災資機材の試運転。

六年生は体育館で避難所立ち上げ訓練を体験。備蓄倉庫から資機材の持ち出しから組み立てを大人と一緒に学びました。煙体験は日立市で初めて教室を使って実施、はじめに煙の中を通る時の注意事項を消防隊員が指導、全児童が煙の充満した教室を避難しました。

2部 避難所開設

防災備蓄倉庫の必要資機材を

はなやま防災通信 NO20

防災ミニクイズ (正解は②)
緊急地震速報は震度5弱以上地震が予想されたとき配信されますが、震度いくつ以上の地域に対して配信されるのでしょうか？
①震度3以上の地域
②震度4以上の地域
③震度5弱以上の地域
●緊急地震速報から地震の強い揺れが来るまで数十秒しかありません。「身の安全を確保する」行動を！
●当会は震度5強以上が発生した際は、役員が塙山交流センターに参集します。

水氾濫ハザードマップの塙山地区拡大パネルを展示しました。

炊き出し訓練は校庭で、二つの大鍋で五年生の作った二五〇食を含め六〇〇食を炊き出し。

また情報伝達訓練ではトランシーバーで塙山団地、森下団地、交流センター、対策本部間の通信を実施しました。

3部 避難行動要支援者安否確認

交流センターでは、福祉局が連絡ルートに従い、LINEやメール等で、十名の民生委員に連絡、一〇二名の災害時避難行動要支援者に、電話等での安否確認を行い、連絡がとれない高齢者には訪問で確認、結果を対策本部に報告しました。11時00分 避難所見学

児童引き渡し訓練後の児童と保護者、一般参加者が体育館避難所を見学しました。

体育館内の避難所状況、防災用品展示、資機材試運転、市研修生による災害写真説明コーナー、給水タンク説明、ハイゼックス炊飯米やカップ麺などを配布しました。

12時00分 訓練終了

市防災対策課長、市企業局水道課長、川崎博文塙山小学校長等が感想を述べ、災害時の命を守る行動や災害に対する備え、災害時の協力体制の大切さを全員で再確認しました。

協力企業 (株)明治商会、砂川産業(株)

塙山交流センター 男性協力員募集

塙山学区にお住まいの方
勤務 ①月～日曜日(シフト制) 17時～21時15分 19時～21時15分
②日・祝日(シフト制) 8時45分～17時
時給 1,000円/時間
給付 センター受付、管理、清掃、コミュニティ活動支援
問合せ 塙山交流センター 34-5404

台風十三号被害対応 ヒアリングで建設的な提案

九月八日(金)、日立市に線状降水帯が初めて発生し市庁舎をはじめ市内全域において甚大な被害をもたらしたことを受け、市では市内二十三学区コミュニティから①避難情報の伝達②避難のあり方③避難所の開設・運営④行政と自主防災組織の関係⑤地域における被災状況⑥その他の六項目に関するヒアリングを市役所全ての部が分担して行いました。

塙山では十一月一日(水)に総務部防災対策課から松本課長、黒沢課長補佐が来られ、正副会長五人から詳細のヒアリングを行い、特に被害発生時や避難所開設等における自主防災・コミュニティが迅速に担う初動体制や学区内の被害状況の情報収集と市への連絡のあり方などについて建設的な意見交換ができました。学区内における被害状況の情報収集には、地区ごとに役員や住民の中から災害情報協力員を委嘱し、学区内全域の被害状況を把握する体制づくりを進めることや避難所開設は冷暖房や和室もあり、避難生活に必要な物品などがほぼ揃っている交流センター(収容五〇人)を第一避難所にする提案もしました。これらの課題等について整理し市と協働で次の災害に備えていきます。

ハナミズキ

立冬が過ぎ暦の上では冬となったが、少し前まで真夏日があるなど地球温暖化による異常気象が米や農作物、水産物等にも大きな影響をもたらしている。各地で観測史上初の降水量による水害が起り、気候温暖で災害も少なかった日立市にも線状降水帯による甚大な被害が発生した。●自然災害を防ぐことは難しいが、戦争は人間が意図的に起こすものであり当事国や国連などが平和的に話し合い、ガザ地区やイスラエルをはじめ世界各地の紛争地で犠牲となつている罪のない多くの子どもたちや女性、高齢者等を救ってほしい。●今月五日、東海第二原発から五キロ圏内(PAZ)の坂下、久慈、大みか地区の児童を含む住民約二六〇人が原発事故を想定した広域避難訓練を行い福島県いわき市と田村市に初めて移動した。塙山も同原発からは九キロしか離れておらず、原子力災害による広域避難時は福島県本宮市まで移動しなければならぬが、果たして交通渋滞の中、安全に避難できるか子どもや住民を巻き込んだ広域避難訓練が必要である。●先月二十一日、塙山小全児童対象に当会の防災士(当会登録九名)による四回目的防災教室と防災訓練を行った。市内で初めてとなる教室での煙体験も全児童が体験、六年生が避難所設置、五年生が炊き出しなど訓練の役割を担った。来年三月九日、東日本大震災の翌年から行っている3・11大震災を忘れない防災訓練(十二回目)に加えて九・八水害も忘れない防災訓練も同時に行う。備えと訓練は何物にも勝る防災である。災害を忘れず教訓を最大限生かしたい。

(副会長) 伊藤智毅

Honda Cars 日立南
金沢店 /

Honda Cars 日立南 金沢店
http://dealer.honda.co.jp/hondacars-hitachiminami/

中途・正社員募集
営業・整備
未経験者OK
資格不問
☎0294-33-0638
日立市金沢町 2-3-25
ホンダカーズ日立南 検索

<職員募集>

はなやまのまちづくりを応援します
医療法人 主 賛 会 日立梅ヶ丘病院
日立市大久保町2409-3
TEL0294-34-2103 (代) 総務課人事担当
E-mail: info@umegaoka.or.jp
URL http://www.umegaoka.or.jp
看護師 准看護師 薬剤師
精神保健福祉士

令和6年度 民間児童クラブ
募集 埴山こどもわくわく広場
 問合せ 住みよいまちをつくる会
 TEL 34-5431 (福祉局)

放課後や長期休暇を安心して過ごせる
 子どもの居場所づくりをしています。

対象児童 1年生から6年生
 ※保護者、同居の祖父母が週4日以上就労している家庭
 ※就労時間が16時30分までの場合は該当しません

開設場所 埴山交流センター中ホール
 開設時間
 ①平日 下校時～午後7時00分
 (延長 午後7時30分)
 ②土曜 午前7時30分～午後6時
 ③長期休暇、学校振替休業日等
 午前7時30分～午後7時00分
 (延長 午後7時30分)

④長期休暇のみの受け付けはありません
 定員 40人程度※定員を超えたときは低学年優先
 保育料 ○年会費 年額 3,000円
 ○負担金 月額 5,000円
 夏休み 16,000円
 冬・春休み 6,000円
 ※延長時加算あり
 ○土曜利用料(1日) 1,000円
 ○その他 おやつ代、傷害保険料他

申込書配布 11月16日(木)から
 申込書受付 令和5年12月4日(月)から
 令和6年1月15日(月)まで
 ※申込書の提出は期限厳守

提出書類 ①家庭調査票 ②就労証明書
 ※申込書配布・提出はいずれも埴山交流センター窓口

市社協の巡回安全サービス
埴山の高齢者宅の安全点検
 十月十一日(水)、市社会福祉協議会のあんしん安全ネットワーク登録者を対象に、巡回安全サービスを実施されました。

緊急通報システムで消防本部と交信

二年生交流センターを見学
 十一月七日(火)、二年生グループが生活科の学習「町探検」で埴山交流センターを訪れました。

この学習は、「地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いている人と自分たちの生活との関わりを見つけ、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみをもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとする事ができるようにする」をねらいとしています。

限られた時間の中で、見学を訪れた女子児童四人は、「利用者への対応の仕方や仕事は楽しいか」など、はきはきと自分で考えた質問をし、質問後は交流センター内を見学。どんな部屋があったりどんな備品があるのかをしっかりと調べ書き留めていました。

全サービスが実施されました。市社協、東京電力パワーグリッド(株)、関東電気保安協会、東京ガスネットワーク(株)、関商事(株)日立トンカチの会、市消防署、民生委員、当会福祉局で高齢者宅三軒を訪問しました。

漏電、屋内配線コード状況、ガス漏れ点検、ガス警報器と火災報知器の設置状況、緊急通報システムが正常に通報できるかを確認、その他、家屋の不具合などを修理、調整しました。

春の花植え替え
プランター土入れ作業
 十一月五日(日)、未来地球

生活したり、働いている人と自分たちの生活との関わりを見つけ、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみをもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとする事ができるようにする」をねらいとしています。

限られた時間の中で、見学を訪れた女子児童四人は、「利用者への対応の仕方や仕事は楽しいか」など、はきはきと自分で考えた質問をし、質問後は交流センター内を見学。どんな部屋があったりどんな備品があるのかをしっかりと調べ書き留めていました。

十三組の親子 国営海浜公園でバーベキュー
 十一月三日(文化の日)、埴山コミュニティクラブ主催で子育て世代の親子を対象に「国営ひたち海浜公園でバーベキュー」を開催、天候にも恵まれ、十三組の親子とスタッフ、三十九名が参加しました。

八時五十分、バスで埴山交流センターを出発、海浜公園に到着後は自由時間、アスレチック、サイクリング、自転車の練習など家族で楽しんでいました。

昼食はバーベキュー。埴山で調達した食材をスタッフがガリヤカー四台で運搬。家族毎に火を起し始めましたが、思うように炭に火が着かず、白い煙が立ちこめ

苦戦、段ボールで風を送る子どもや、火が着かない家族を手伝うお父さんもいて和やかな空気が生まれました。会話も弾み、用意した食材もほぼ完食、焼きマッシュマロは子どもたち大好評でした。

後片付けは全員参加、火の始末鉄板・網を洗う作業、周辺の掃除など手際よく片付けました。

子育てママ集集会 動物園
 子育てママ集集会は、十月二十四日(火)日立市かみね動物園へ遠足に行き、十二組の親子が参加しました。

コロナ感染症や、天候不良が重なり、かみね動物園への遠足は三年ぶり、当日は天気にも恵まれ、十月後半とは思えないくらいとても暖かい一日でした。

参加者は現地集合とし、全員で記念写真を撮った後は、自由に動物園を散策、お昼はカバさんハウス近くの広場で一緒にお弁当を食べました。三年前に赤ちゃんだったキリンのクルミちゃんもお姉ちゃんになり、「伊豆アニマルキングダム」への引越前仲の良いキリン家族をみんなで見る事ができました。

子どもの手を繋いでゆっくり歩く人、ベビーカーに乗せる人、各々のペースで動物園内を見学し、親子だけでなく、お母さん同士の交流を楽しむ姿も見られました。

交流センターデジタル化へ 協力員を中心に研修中
 コミュニティ活動の拠点施設である交流センターのデジタル環境を整備して、オンライン研修等への参加や情報発信、業務の効率化などを目的に、デジタル機器の配備とともに操作の研修などが進められています。

これまでにデジタルサイネージ(電子掲示板)、液晶ディスプレイ(オンライン会議等のモニターとして使用)、ノートパソコン(四台)、タブレット(八台)が配備されました。

市は二十三交流センターに機器の操作等支援するデジタル支援員を派遣、必要な研修内容を支援員と相談しながら、埴山はZOOMの操作、タブレット操作、新ホームページ構築、QRコード作成と活用、コミュニティ推進課への情報送信の方法など、日々の業務に生かせるよう十七名の協力員を中心に研修を続けています。

心なせる花がハナミズキ通りを飾ります。

にぎやかに親子でバーベキュー

美しい花を咲かせるためのマグアンプを入れ、古い土を生かして新たな土も補充、ブルーシート上で混ぜ合わせてプランターへ、ハナミズキ通りに設置しました。

十二日(日)、このプランターにスポーツ少年団員、後援会、指導者等がパンジーを植え付けました。冬から春に向かって

さんさん基金
 現在高 二〇二一、二三円

ペンギンがみんなのところに来てくれました

ペンギンがみんなのところに来てくれました

読売新聞は3400円
 《価格据え置き》(月ごめ税込)
 無料のおためし新聞も当店へ!
 地域の情報満載!
 『キャッチボール』毎月25日折込
 『読売タウンニュース』木曜折込

読売KODOMO新聞 木曜日発行・月額550円
 読売中 高生新聞 金曜日発行・月額850円

読売センター多賀中央 **和田新聞店**
 大久保町3-1-1 TEL33-0888

仕事にご満足
 いただけただけ
 なかつたら
 作業代を
 無料に
 いたします

埴山学区の助っ人
フィールドグロウ
 TEL33-08004

金沢町3-1-18
 代表 茂野勝雄

FIELDGROW
 フィールドグロウ

J A 日立市多賀
 新鮮な野菜を販売

はなやま朝市
 埴山交流センター玄関
 ○月・水・金曜日
 ※祝日はお休みです
 ○午前10時30分～

日立市多賀町1丁目12番10号
 多賀農業協同組合 ☎33-0048
 購買店舗 ☎33-0187

ピアノ高価買取 実施中

ピアノの処分にご困っている方、ピアノをお使いにならない方、買取キャンペーンを実施中。電話一本で簡単査定。

査定は無料
 運賃無料サービス期間
 ぜひ、この機会をお見逃しなく!

■ピアノ買取・ピアノ販売
ヤマハピアノプラザ ☎0120-27-0411
 (株) **クシダピアノ社** 日立市幸町1-7-13
 TEL 0294-21-0411 受付時間 AM11:00～

手・足・腰・肩の痛み
 骨折/脱臼/捻挫/打撲

埴山接骨院
 酸素ボックス完備
 朝6時から診療

休診日 日曜・祝祭日
 TEL 38-1144
 日立市金沢町2-4-14

日立市内限定
マルチネットスーパー
 食品・日用品の宅配サービスです

詳しくは右のQRをご確認ください

対象地域 **日立市内全域**

直通電話 080-4458-3704 (9:00~17:00)

インターネットが苦手な方は訪問による注文も行っています。

キッチン・バスルーム・洗面所・トイレなど

水廻りのことなら

新設・リフォーム工事は地元の
中央工業(株)
 〒316-0015 茨城県日立市金沢町3-2-2
 TEL (34)2843(代) FAX (34)2837

従業員募集中

総合塗装工事 リフォーム工事
 地元埴山地区の塗装店
 (株)日本塗装工業会会員・日立建築塗装組合員

(株)高野塗装店
 住みよい埴山かわら版限定 契約時5%割引

0120-35-6839
 http://takano-tosou.jimdo.com/